

何かに夢中って  
素晴らしい!!

# シャカク

瓦版

VOL.7

2014年7月

【シャカリキ】[名][形動]夢中になって何かに取り組むこと。お釈迦様が人々の幸せのために力の限りを尽くしたことから、このような姿を「お釈迦様の力=釈迦力」というようになりました。



妙見山法得寺

〒546-0012 大阪市東住吉区中野4-5-26

Tel.06-6702-7373 Fax.06-6700-6002

e-mail: info@houtokuji.net

永代供養専用ダイヤル Tel.06-4302-4194 (よくよう)

ホームページ <http://www.houtokuji.net>

## けんとうえ 法得寺 献灯会

今年もお盆の季節が近づいてきました。

当山におきましては、8月15日・16日の2日間に亘り、境内に於いて「<sup>けんとうえ</sup>献灯会」を開催することになりました。

お盆には、天に昇った「<sup>たましい</sup>魂」が、地上をさまよい草葉の陰にねむる「<sup>たましい</sup>魄」の所に帰ると伝えられています。「魂」は精神を、「魄」は肉体をつかさどるたましい)

そこで、天から帰った「たましい」をお迎えするため「迎え火」を焚き、また迷わないようにと「送り火」を焚くのが、日本古来の慣わしでした。

各地での七夕行事や京都五山の送り火も、今に伝わる日本の民族信仰の表れです。

献灯会では数多くの燈明(ローソク)を焚いてご先祖さまに感謝をし、故人を偲ぶことによって、命の流れを見つめ、報恩感謝の気持ちを含めて、自身の心を見つめなおす時間にいたしましょう。

宗旨・宗派の枠にとらわれず、境内一杯の燈明を天へと燈します。



その明かりは、ご先祖様と現世の私達を結ぶ架け橋の役目を担ってくれるでしょう。

ある者は、故人の名を刻み、ある者は願いを<sup>ともしび</sup>灯火に託し、一つ一つのローソクを燈して参ります。

皆さん、お気軽にお立ち寄りください。

(雨天・強風時は中止となります)

### 献灯会日程

8月15日(金)・16日(土)

#### ●献灯時刻●

午後7時30分～10時(両日とも)

#### ●お盆の読経と一口法話●

午後7時45分～8時15分

#### ●献灯料●

一灯につき 500円(いくつでも可)

#### ●当日の受付も可●

午後7時～8時

◆別紙「献灯申込書」をお渡ししますので、ご記入の上、お早目にお申込みをお願いいたします。燈明には自筆でお書きいただいても構いません。(当日お申込みの場合は、燈明にご自分でお書きいただく場合がございます。)

◆燈明の文字入れは、「追善供養」あるいは「願ひ事」。あらかじめ用意されたものを選んでいただいても構いませんが、全く自由に、ご自分の思いのだけを書いていただくこともできます。たとえば…

「おやじ、みんな元気であるから安心してや」  
「ポチ、ずーっと一緒だからね」  
「ひざの痛みがなくなりますように…」など

ご協力よろしく願いいたします。

